



手宮中央

教育目標
やさしい心をもつ子ども
自ら学ぶ子ども
たくましい子ども

学校HP
QR
コード

冬を楽しむ

校長 小寺 友興

今月は、インフルエンザ流行により4日（水）から6日（金）までの3日間を学校閉鎖、そして、先週19日（木）は、悪天候により臨時休校とさせていただきます。急なお願いにもかかわらず、学校の対応にご協力いただいたことに感謝申し上げます。子どもたちの健康と安全を第一に考えてのことですので、ご理解をいただければ大変有難く存じます。

ここ数日の暖気でだいぶ雪解けが進みましたが、北國小樽の冬は、今年も大雪と厳しい寒さに見舞われました。そんな冬を楽しむ活動として、本校には、伝統行事の「雪まつり」があります。今年の雪まつりは、2月13日（金）に行いましたが、それに先立ち、2月7日（土）、8日（日）の2日間、雪まつり発祥の地として有名な旧北手宮小学校の卒業生や地域の方々で構成される雪まつり保存会の方々を中心に、本校の保護者、児童、教職員が参加して、滑り台付きの「シマエナガ」の雪像を製作しました。その雪像が見守る中、当日は雪中ゲームやそり滑りなどを無邪気に楽しむ子どもたちの姿がたくさん見られました。地域の方々から注いでくださる愛情に支えられ、旧北手宮小学校から引き継いだ冬の伝統が子どもたちの笑顔と共に引き継がれていることを、大変嬉しく、誇らしく感じております。

また、3学期は、どの学年もスキー学習を行っています。最初は思い通りにスキーの操作ができないことに苦戦し、雪の上を歩いたり雪山に登ったりするのも一苦労だった低学年の子どもたちも、回を重ねるごとにみるみる上達し、風を切って雪山を滑る爽快感を味わう児童もたくさん見られました。「滑れるようになった!」「もっと高いところから行きたい!」と目を輝かせて報告してくれる姿からは、困難に挑戦し、それを乗り越える喜びが伝わってきます。冬という厳しい季節は、子どもたちの心と体をたくましく成長させてくれる絶好の機会となっています。スキー学習に際し、子どもたちのサポートのためのボランティアについて保護者の皆様をお願いさせていただいたところ、これまで全ての実施日において、数名の方にご協力いただいております。おかげで、子どもたちの安全・安心を確保しながら、スキー学習を行うことにつながっています。

このように、どちらの取組も、保護者、地域の方々に支えられながら取り組むことができていることに、改めて感謝申し上げます。厳しい寒さを嘆くばかりではなく、その中にある楽しみを見つける「心の豊かさ」を、これからも子どもたちと共に育ててまいりたいと思います。

3月の主な行事予定

2日	児童朝会 放課後学習会	13日	放課後学習会 卒業式全体練習
3日	6年生を送る会	16日	6年大掃除
4日	B日課 フッ化物洗口 学校運営協議会	17日	卒業式総練習
6日	B日課 1~3年4時間、4年5時間、5・6年6時間	18日	卒業式前日準備
9日	全校朝会 6年6時間 放課後学習会	19日	第10回卒業式 佐々木スクールカウンセラー来校日
10日	B日課	20日	春分の日（祝日）
11日	フッ化物洗口	23日	大掃除 入学式練習
12日	佐々木スクールカウンセラー来校日	24日	B日課 3時間授業 修了式・離任式
		25日	学年末・学年始休業（4月5日まで）



租税教育推進校表彰

今年度、本校が租税教育推進校に選ばれました。過日、小樽税務署長・齊藤康之様より表彰状とトロフィーが贈呈されました。

本校では例年、6年生の社会科学習の一環として、租税教室を開催しています。税金の種類や仕組み、使い道を知ることを通して、公共施設や公共サービスなど、一人の力ではできないことに協力して取り組むための財源になっていることや、健康で文化的な生活を営むためのセーフティーネットとなっていることを学んでいます。

この表彰を励みに、今後も税金の大切さを伝える授業を推進してまいります。



雑巾の寄贈をいただきました

石山町会会長・荒谷しげ子様より、本校に雑巾を寄贈いただきました。年度末の大掃除など、日々の清掃活動で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



留め置き下校訓練を実施しました

2月10日(火)に、留め置き下校訓練を実施いたしました。本校では初めての実施でしたが、保護者の皆様のご協力で無事に終了することができました。今回の訓練で得た成果は、実際の災害対応に生かしてまいります。



令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

このたび、全国の5年生児童を対象として1学期に実施した調査(新体力テスト)の結果がスポーツ庁から届きましたので、本校の結果(概要)をお知らせします。



〔体力・運動能力〕

男子は、「握力(筋力)」「長座体前屈(柔軟性)」「反復横とび(敏捷性)」「20mシャトルラン(全身持久力)」「立ち幅とび(筋パワー・跳躍能力)」が全国平均を上回りました。また、「上体起こし(筋パワー・筋持久力)」「50m走(疾走能力)」「ソフトボール投げ(巧緻性・投球能力)」で全国平均を下回りました。体力合計点については、全国平均を上回りました。

女子は、「握力」「長座体前屈」で全国平均を上回りました。「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」では全国平均を下回り、特に「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」では大きく下回りました。また、体力合計点でも全国平均を下回りました。

男女とも、筋力や柔軟性については申し分ありませんが、疾走能力や投球能力を伸ばしていく必要があると考えます。



〔運動習慣等〕

男女ともに全員が「運動が楽しい」と感じており、運動やスポーツをすることに前向きな姿勢が見取れます。しかし、「学校の体育以外で運動やスポーツをしている時間」が、男子はすべての曜日で全国平均を上回っているものの、女子はほとんどの曜日で全国平均を下回っていました。

睡眠時間は、男女とも8時間以上とれている児童の割合は全国平均を下回っており、「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合も男女とも、全国平均を下回っています。

また、男女ともに半数以上が1日のうち3時間以上TV・ゲーム機・スマホなどの画面を見ており、全国平均の割合を大きく上回っています。視力低下などの健康面への影響が心配されます。



※これらの結果を踏まえ、体育の授業改善や児童の適切な運動習慣づくりに生かしてまいります。